

● 日本語科目

日本語 I-1a・I-1b
春学期 (I-1a) 及び 秋学期 (I-1b) 各 8 単位

ひらがな、カタカナ、100 字程度以上の漢字の知識がある学習者を対象とします。日本語 I-1a・I-1b では、目標とするレベルを CEFR の A1 に設定しています。特に、「簡単に自分のこと（名前・国・趣味など）を話したり相手のことを聞いたりすることができる」、「お店の人や友達と簡単なやり取りをして、買い物をしたり料理の注文をしたりすることができる」といった活動や話題を総合的に扱います。

また、日常生活に必要な会話と 300 字程度の漢字、漢字語彙を使った読解、短い作文ができるようになることを目標とします。文法、会話、聴解、作文の授業は『できる日本語』を使います。読解の授業は『たのしい読み物 55』、漢字の授業は『基本漢字 500』を使います。(週 8 コマ)

日本語 I-1a・I-1b の目標は以下の通りです。

- 日常生活での身近な事柄について、相手の助けを得られれば、簡単なやりとりができる。
- 簡単な表現を聞きとることができ、基本的な語句や表現を使って自分の気持ちを伝えられる。
- 100－300 字程度の漢字、またその漢字を含んだ漢字語彙を読んだり書いたりすることができる。
- 短いメモやメッセージが書ける。

授業内容の例

- ・会話の中で新しい表現が使えるように練習する。
- ・自分の経験について話せるように練習する。
- ・CD を聞いたり、クラスメイトと話したりする。
- ・各課で勉強したことを使って活動する。

(例：日本人学生をクラスに招いて話す。自分の町について紹介する。)

日本語 I-1a は春学期に、I-1b は秋学期に開講します。学習項目や活動は、学生の既習項目等に合わせて、調整することがあります。

(評価) 課題・授業参加等・・・10% クイズ・・・20% 書くテスト・・・30% 話すテスト・・・20% 漢字・・・20%

(教材) 『できる日本語 初級 本冊』 アルク, 『たのしい読み物 55 初級&初中級』 アルク

『新版 基本漢字 500 Vol.1』 凡人社

日本語 I-1c
冬季集中 2 単位

日本語 I-1c は冬学期に開講します。春学期や秋学期の学習で身につけられなかった知識やスキルを集中的にブラッシュアップし、I-1a や I-1b で身につける知識やスキルの習熟を目指します。特に、「簡単に自分のこと（名前・国・趣味など）を話したり相手のことを聞いたりすることができる」、「お店の人や友達と簡単なやり取りをして、買い物をしたり料理の注文をしたりすることができる」といった活動や話題を総合的に扱います。

また、日常生活に必要な会話と 300 字程度の漢字、漢字語彙を使った読解、短い作文ができるようになることを目標とします。文法、会話、聴解、作文の授業は『できる日本語』を使います。読解の授業は『たのしい読み物 55』、漢字の授業は『基本漢字 500』を使います。(週 6 コマ、5 週実施)

日本語 I-1c の目標は以下の通りです。

- 日常生活での身近な事柄について、相手の助けを得られれば、簡単なやりとりができる。
- 簡単な表現を聞きとることができ、基本的な語句や表現を使って自分の気持ちを伝えられる。
- 100－300 字程度の漢字、またその漢字を含んだ漢字語彙を読んだり書いたりすることができる。
- 短いメモやメッセージが書ける。

授業内容の例

- ・会話の中で新しい表現が使えるように練習する。
- ・自分の経験について話せるように練習する。
- ・CD を聞いたり、クラスメイトと話したりする。
- ・各課で勉強したことを使って活動する。

(例：日本人学生をクラスに招いて話す。自分の町について紹介する。)

学習項目や活動は、学生の既習項目等に合わせて、調整することがあります。

(評価) 課題・授業参加等・・・10% クイズ・・・20% 書くテスト・・・30% 話すテスト・・・20% 漢字・・・20%

(教材) 『できる日本語 初級 本冊』 アルク, 『たのしい読み物 55 初級&初中級』 アルク

『新版 基本漢字 500 Vol.1』 凡人社

日本語 I-2a・I-2b
春学期 (I-2a) 及び 秋学期 (I-2b) 各 8 単位

ひらがな、カタカナ、100 字程度以上の漢字の知識がある学習者を対象とします。日本語 I-2a・I-2b では、目標とするレベルを CEFR の A1 に設定しています。特に、「体調について友だちや周りの人と簡単に話することができる。また、病院で簡単なやり取りをすることができる。」や、「異なる文化の中で楽しく生活するために、習慣・文化・ルールを知り、自分の意見を簡単に言うことができる。」といった A1 レベルのやや難易度の高い活動や話題を総合的に扱います。

また、日常生活に必要な会話と 300 字程度の漢字、漢字語彙を使った読解、短い作文ができるようになることを目標とします。文法、会話、聴解、作文の授業は『できる日本語』を使います。読解の授業は『たのしい読み物 55』、漢字の授業は『基本漢字 500』を使います。(週 8 コマ)

日本語 I-2a・I-2b の目標は以下の通りです。

- 日常生活での身近な事柄について、相手の助けを得られれば、簡単なやりとりができる。
- 簡単な表現を聞きとることができ、基本的な語句や表現を使って自分の気持ちを伝えられる。
- 100－300 字程度の漢字、またその漢字を含んだ漢字語彙を読んだり書いたりすることができる。
- 短いメモやメッセージが書ける。

授業内容の例

- ・会話の中で新しい表現が使えるように練習する。
- ・自分の経験について話せるように練習する。
- ・CD を聞いたり、クラスメイトと話したりする。
- ・各課で勉強したことを使って活動する。

(例：アンケートをして発表する。私のニュースをまとめて新聞を作る。)

日本語 I-2a は春学期に、I-2b は秋学期に開講します。学習項目や活動は、学生の既習項目等に合わせて、調整することがあります。

(評価) 課題・授業参加等・・・10% クイズ・・・20% 書くテスト・・・30% 話すテスト・・・20% 漢字・・・20%

(教材) 『できる日本語 初級 本冊』 アルク, 『たのしい読み物 55 初級&初中級』 アルク
『新版 基本漢字 500 Vol.1』 凡人社

日本語 I-2c
冬季集中 2 単位

日本語 I-2c は冬学期に開講します。春学期や秋学期の学習で身につけられなかった知識やスキルを集中的にブラッシュアップし、I-2a や I-2b で身につける知識やスキルの習熟を目指します。特に、「体調について友だちや周りの人と簡単に話することができる。また、病院で簡単なやり取りをすることができる。」や、「異なる文化の中で楽しく生活するために、習慣・文化・ルールを知り、自分の意見を簡単に言うことができる。」といった A1 レベルのやや難易度の高い活動や話題を総合的に扱います。

また、日常生活に必要な会話と 300 字程度の漢字、漢字語彙を使った読解、短い作文ができるようになることを目標とします。文法、会話、聴解、作文の授業は『できる日本語』を使います。読解の授業は『たのしい読み物 55』、漢字の授業は『基本漢字 500』を使います。(週 6 コマ、5 週実施)

日本語 I-2c の目標は以下の通りです。

- 日常生活での身近な事柄について、相手の助けを得られれば、簡単なやりとりができる。
- 簡単な表現を聞きとることができ、基本的な語句や表現を使って自分の気持ちを伝えられる。
- 100－300 字程度の漢字、またその漢字を含んだ漢字語彙を読んだり書いたりすることができる。
- 短いメモやメッセージが書ける。

授業内容の例

- ・会話の中で新しい表現が使えるように練習する。
- ・自分の経験について話せるように練習する。
- ・CD を聞いたり、クラスメイトと話したりする。
- ・各課で勉強したことを使って活動する。

(例：アンケートをして発表する。私のニュースをまとめて新聞を作る。)

(評価) 課題・授業参加等・・・10% クイズ・・・20% 書くテスト・・・30% 話すテスト・・・20% 漢字・・・20%

(教材) 『できる日本語 初級 本冊』 アルク, 『たのしい読み物 55 初級&初中級』 アルク
『新版 基本漢字 500 Vol.1』 凡人社

日本語 II-1a・II-1b
春学期（II-1a） 及び 秋学期（II-1 b） 各 8 単位

初中級の学習者を対象とします。日本語 II-1a・II-1b では、目標とするレベルを CEFR の A2 に設定しています。特に、「初めてあった人に丁寧に自己紹介したり、印象よく問い合わせたりできる。」や、「突然のハプニングにあったとき、簡単なことなら事情を説明して対処することができる。」といった活動や話題を総合的に扱います。

また、日本語 II-1a ・II-1b では、簡単な敬語などの会話表現についても学習します。日常生活に必要な会話と 300 字程度の漢字、漢字語彙を使った読解、簡単な構造の作文ができるようになることを目標とします。文法、会話、聴解、作文の授業は『できる日本語』を使います。読解の授業は『たのしい読み物 55』、漢字の授業は『基本漢字 500』を使います。（週 8 コマ）

日本語 II-1a ・II-1b の目標は以下の通りです。

- 日常生活での身近なことがらについて、助けを得なくても簡単なやりとりができる。
- 仕事や専門、社会に関することがらについて、相手の助けを得ることができれば、自分の意見を言ったり、簡単なやりとりをしたりすることができる。
- 自分の国のこと、身の回りの状況などについての情報が説明できる。
- 500 字程度の漢字、またその漢字を含んだ漢字語彙を読んだり書いたりすることができる。
- 短いスピーチの原稿が書ける。

授業内容の例

- ・会話の中で新しい表現が使えるように練習する。
- ・自分の経験について話せるように練習する。
- ・CD を聞いたり、クラスメイトと話したりする。
- ・各課で勉強したことを使って活動する。

（例：日本人学生やコンビニや書店の店員さんをゲストに招き、インタビューする。旅行の計画を立てて発表する。）

日本語 II-1a は春学期に、II-1b は秋学期に開講します。学習項目や活動は、学生の既習項目等に合わせて、調整することがあります。

（評価） 課題・授業参加等・・・10% クイズ・・・20% 書くテスト・・・30% 話すテスト・・・20% 漢字・・・20%

（教材） 『できる日本語 初中級 本冊』 アルク、 『たのしい読み物 55 初級&初中級』 アルク
『新版 基本漢字 500 Vol. 2』 凡人社

日本語 II-1c
冬季集中 2 単位

日本語 II-1c は冬学期に開講します。春学期や秋学期の学習で身につけられなかった知識やスキルを集中的にブラッシュアップし、II-1a や II-1b で身につける知識やスキルの習熟を目指します。特に、「初めてあった人に丁寧に自己紹介したり、印象よく問い合わせたりできる。」や、「突然のハプニングにあったとき、簡単なことなら事情を説明して対処することができる。」といった活動や話題を総合的に扱います。

また、日本語 II-1c でも、簡単な敬語などの会話表現についても学習します。日常生活に必要な会話と 300 字程度の漢字、漢字語彙を使った読解、簡単な構造の作文ができるようになることを目標とします。文法、会話、聴解、作文の授業は『できる日本語』を使います。読解の授業は『たのしい読み物 55』、漢字の授業は『基本漢字 500』を使います。（週 6 コマ、5 週実施）

日本語 II-1c の目標は以下の通りです。

- 日常生活での身近なことがらについて、助けを得なくても簡単なやりとりができる。
- 仕事や専門、社会に関することがらについて、相手の助けを得ることができれば、自分の意見を言ったり、簡単なやりとりをしたりすることができる。
- 自分の国のこと、身の回りの状況などについての情報が説明できる。
- 500 字程度の漢字、またその漢字を含んだ漢字語彙を読んだり書いたりすることができる。
- 短いスピーチの原稿が書ける。

授業内容の例

- ・会話の中で新しい表現が使えるように練習する。
- ・自分の経験について話せるように練習する。
- ・CD を聞いたり、クラスメイトと話したりする。
- ・各課で勉強したことを使って活動する。

（例：日本人学生やコンビニや書店の店員さんをゲストに招き、インタビューする。旅行の計画を立てて発表する。）

学習項目や活動は、学生の既習項目等に合わせて、調整することがあります。

（評価） 課題・授業参加等・・・10% クイズ・・・20% 書くテスト・・・30% 話すテスト・・・20% 漢字・・・20%

（教材） 『できる日本語 初中級 本冊』 アルク、 『たのしい読み物 55 初級&初中級』 アルク
『新版 基本漢字 500 Vol. 2』 凡人社

日本語 II-2a・II-2b
春学期（II-2a） 及び 秋学期（II-2 b） 各 8 単位

初中級の学習者を対象とします。日本語 II-2a・II-2b では、目標とするレベルを CEFR の A2 に設定しています。特に、「地域の日本人に、自分の最近の生活や今困っていることなどについて話したり、地域の活動に参加したりすることができる。」や「テレビや町中で気になることを見かけたとき、それについて意見を言ったり、それに関する自分の経験を話したりすることができる。」といった A2 レベルのやや難易度の高い活動や話題を総合的に扱います。

また、日本語 II-2a ・II-2b でも、簡単な敬語などの会話表現についても学習します。日常生活に必要な会話と 300 字程度の漢字、漢字語彙を使った読解、簡単な構造の作文ができるようになることを目標とします。文法、会話、聴解、作文の授業は『できる日本語』を使います。読解の授業は『たのしい読み物 55』、漢字の授業は『基本漢字 500』を使います。（週 8 コマ）

日本語 II-2a ・II-2b の目標は以下の通りです。

- 日常生活での身近なことがらについて、助けを得なくても簡単なやりとりができる。
- 仕事や専門、社会に関することがらについて、相手の助けを得ることができれば、自分の意見を言ったり、簡単なやりとりをしたりすることができる。
- 自分の国のこと、身の回りの状況などについての情報が説明できる。
- 500 字程度の漢字、またその漢字を含んだ漢字語彙を読んだり書いたりすることができる。
- 短いスピーチの原稿が書ける。

授業内容の例

- ・会話の中で新しい表現が使えるように練習する。
- ・自分の経験について話せるように練習する。
- ・CD を聞いたり、クラスメイトと話したりする。
- ・各課で勉強したことを使って活動する。

（例：健康について調べてクラスメイトやゲストと意見交換をする。自分の国の行事について調べて発表する。）

日本語 II-2a は春学期に、II-2b は秋学期に開講します。学習項目や活動は、学生の既習項目等に合わせて、調整することがあります。

（評価） 課題・授業参加等・・・10% クイズ・・・20% 書くテスト・・・30% 話すテスト・・・20% 漢字・・・20%

（教材） 『できる日本語 初中級 本冊』 アルク、 『たのしい読み物 55 初級&初中級』 アルク
『新版 基本漢字 500 Vol.2』 凡人社

日本語 II-2c
冬季集中 2 単位

日本語 II-2c は冬学期に開講します。春学期や秋学期の学習で身につけられなかった知識やスキルを集中的にブラッシュアップし、II-2a や II-2b で身につける知識やスキルの習熟を目指します。特に、「地域の日本人に、自分の最近の生活や今困っていることなどについて話したり、地域の活動に参加したりすることができる。」や「テレビや町中で気になることを見かけたとき、それについて意見を言ったり、それに関する自分の経験を話したりすることができる。」といった A2 レベルのやや難易度の高い活動や話題を総合的に扱います。

また、日本語 II-2c でも、簡単な敬語などの会話表現についても学習します。日常生活に必要な会話と 300 字程度の漢字、漢字語彙を使った読解、簡単な構造の作文ができるようになることを目標とします。文法、会話、聴解、作文の授業は『できる日本語』を使います。読解の授業は『たのしい読み物 55』、漢字の授業は『基本漢字 500』を使います。（週 6 コマ、5 週実施）

日本語 II-2c の目標は以下の通りです。

- 日常生活での身近なことがらについて、助けを得なくても簡単なやりとりができる。
- 仕事や専門、社会に関することがらについて、相手の助けを得ることができれば、自分の意見を言ったり、簡単なやりとりをしたりすることができる。
- 自分の国のこと、身の回りの状況などについての情報が説明できる。
- 500 字程度の漢字、またその漢字を含んだ漢字語彙を読んだり書いたりすることができる。
- 短いスピーチの原稿が書ける。

授業内容の例

- ・会話の中で新しい表現が使えるように練習する。
- ・自分の経験について話せるように練習する。
- ・CD を聞いたり、クラスメイトと話したりする。
- ・各課で勉強したことを使って活動する。

（例：健康について調べてクラスメイトやゲストと意見交換をする。自分の国の行事について調べて発表する。）

学習項目や活動は、学生の既習項目等に合わせて、調整することがあります。

（評価） 課題・授業参加等・・・10% クイズ・・・20% 書くテスト・・・30% 話すテスト・・・20% 漢字・・・20%

（教材） 『できる日本語 初中級 本冊』 アルク、 『たのしい読み物 55 初級&初中級』 アルク
『新版 基本漢字 500 Vol.2』 凡人社

日本語 III-1a・III-1b
春学期 (III-1 a) 及び 秋学期 (III-1 b) 各 8 単位

中級レベルの学習者を対象に、日本語 III-1a・III-1b では、目標とするレベルを CEFR の B1 に設定しています。日本語 III-1a・III-1b では、技能別に聞く、話す（表現・やりとり）、読む、書く、文法、漢字語彙のクラスを開講しています。各クラスで扱われる様々な技能を身につけ、場面や状況に応じた適切な言葉づかいで、自分が述べたいことについて、自信を持って述べられるようになることを目指します。（週 8 コマ）

日本語 III-1a・III-1b の目標は以下の通りです。

- 身近な話題や日常的な話題の会話やニュースについて、聞いたり話したりすることができる。
- ことばや構文が単純であれば、社会や生活の幅広い話題についての議論を理解することができる。
- 身近な話題について書かれた新聞記事や、小説の一部などを読んで、要点をつかむことができる。
- 日常的な話題や、一般的な問題に関する意見などについてある程度まとまった文章を書くことができる。

科目	授業内容の例
聞く	・簡単なニュースや説明を聞き、必要な情報を聞き取る。 ・日常生活や大学生活での会話を聞き、内容を予測しながら大意を理解する。
話す a	・自分の意見や考えを整理して発表する。（スピーチ、プレゼンテーション） ・自分の関心事や身近な話題について話す。 ・自分の体験や物語を語る。
話す b	・学校や日常場面での会話を練習する。（依頼、勧誘、謝罪など） ・身近な話題や一般的な社会問題についてクラスメイトと意見交換する。
読む	・身近な話題の新聞記事や情報誌から重要点を取り出す。 ・様々な種類の文章を独力で読み解ける。 ・必要な情報を見つけるために長いテキストにざっと目を通し、情報を収集する。 ・短編小説などを読んで、出来事の経過や登場人物の行動の動機など、内容を理解する。
書く	・身近な話題についてある程度まとまった文章を書く。 ・書き言葉の文体・表現を学習する。 ・経験、感情や出来事を含んだ個人的なメールを書く。先生にアポイントのメールを書く。 ・自分が関心を持つ話題について、意見や説明を書く。
文法	・中級レベルの日本語文法・表現を学習する。
漢字	・800—1200 字程度の漢字とその漢字を含んだ漢字語彙の読み書きを学習する。

日本語 III - 1a は春学期に、III - 1b は秋学期に開講します。学習項目や活動は、学生の既習項目等に合わせて、調整することがあります。

（評価） 各授業の科目を担当する教員が個別に評価します。多くの場合、課題、授業参加度、試験等の結果を総合的に判断し、評価を行います。

（教材の例） 『小論文への 12 のステップ』スリーエーネットワーク
『日本語学習者のための読解厳選テーマ 10 中級・中上級』 凡人社
『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解 中級・中上級』スリーエーネットワーク
『日本語学習のためのよく使う順漢字 2200』三省堂
ニュース、新聞記事等

日本語 III-1c
冬季集中 2 単位

日本語 III-1c は冬学期に開講します。春学期や秋学期の学習で身につけられなかった知識やスキルを集中的にブラッシュアップし、III-1a や III-1b で身につける知識やスキルの習熟を目指します。III-1a や III-1b と同様に中級レベル以上の学習者を対象に、日本語 III では、目標とするレベルを CEFR の B1 に設定しています。日本語 III では、技能別に聞く、話す（表現・やりとり）、読む、書く、文法、漢字語彙のクラスを開講しており、各クラスで扱われる様々な技能を身につけ、場面や状況に応じた適切な言葉づかいで自信を持って述べたいことを述べられることを目指します。（週 6 コマ、5 週実施）

日本語 III-1c の目標は以下の通りです。

- 身近な話題や日常的な話題の会話やニュースについて、聞いたり話したりすることができる。
- ことばや構文が単純であれば、社会や生活の幅広い話題についての議論を理解することができる。
- 身近な話題について書かれた新聞記事や、小説の一部などを読んで、要点をつかむことができる。
- 日常的な話題や、一般的な問題に関する意見などについてある程度まとまった文章を書くことができる。

科目	授業内容の例
聞く	・簡単なニュースや説明を聞き、必要な情報を聞き取る。 ・日常生活や大学生活での会話を聞き、内容を予測しながら大意を理解する。
話す a	・自分の意見や考えを整理して発表する。（スピーチ、プレゼンテーション） ・自分の関心事や身近な話題について話す。 ・自分の体験や物語を語る。
話す b	・学校や日常場面での会話を練習する。（依頼、勧誘、謝罪など） ・身近な話題や一般的な社会問題についてクラスメイトと意見交換する。
読む	・身近な話題の新聞記事や情報誌から重要点を取り出す。 ・様々な種類の文章を独力で読み解ける。 ・必要な情報を見つけるために長いテキストにざっと目を通し、情報を収集する。 ・短編小説などを読んで、出来事の経過や登場人物の行動の動機など、内容を理解する。
書く	・身近な話題についてある程度まとまった文章を書く。 ・書き言葉の文体・表現を学習する。 ・経験、感情や出来事を含んだ個人的なメールを書く。先生にアポイントのメールを書く。 ・自分が関心を持つ話題について、意見や説明を書く。
文法	・中級レベルの日本語文法・表現を学習する。
漢字	・800－1200 字程度の漢字とその漢字を含んだ漢字語彙の読み書きを学習する。

学習項目や活動は、学生の既習項目等に合わせて、調整することがあります。

（評価） 各授業の科目を担当する教員が個別に評価します。多くの場合、課題、授業参加度、試験等の結果を総合的に判断し、評価を行います。

（教材の例） 『小論文への 12 のステップ』スリーエーネットワーク
『日本語学習者のための読解厳選テーマ 10 中級・中上級』 凡人社
『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解 中級・中上級』スリーエーネットワーク
『日本語学習のためのよく使う順漢字 2200』三省堂
ニュース、新聞記事等

日本語 III-2a・III-2b
春学期（III-2 a） 及び 秋学期（III-2 b） 各 8 単位

中級レベルの学習者を対象に、日本語 III-2a・III-2b では、目標とするレベルを CEFR の B1~B2 に設定しています。日本語 III-2a・III-2b では、技能別に聞く、話す（表現・やりとり）、読む、書く、文法、漢字語彙のクラスを開講しており、各クラスで扱われる様々な技能を身につけ、場面や状況に応じた適切な言葉づかいで自信を持って述べたいことを述べられることを目指します。（週 8 コマ）

日本語 III-2a・III-2b の目標は以下の通りです。

- 専門的なプレゼンテーションや、ニュースやドキュメンタリーを聞いて理解することができる。
- 社会や生活の幅広い話題についての議論を理解し、自分の意見を述べることができる。
- 助けを得れば、様々な種類の複雑な文章を読んで、内容を理解することができる。
- 論拠を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。

科目	授業内容の例
聞く	- 専門的なプレゼンテーションの要点が理解できる。 - 標準語のドキュメンタリー、ニュース、インタビュー、映画等を理解できる。
話す a	- はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。 - 図表やグラフなどを示しながら、詳しく説明し、質問に的確に対応することができる。 - 映画やドラマなどについて、友人にストーリーの展開を要領よくまとめて話すことができる。
話す b	- お互いにストレスを感じさせることなく、流暢に自然に対話できる。 - 日常・非日常的な公式の議論に積極的に参加できる。 - 様々な立場の人と、抽象的な文化的・社会的な話題について、意見交換ができる。 - インタビューをなめらかに効果的に行うことができる。
読む	- さまざまな種類の文章を独力で読み解ける。 - 文章を読むのに必要な広汎な語彙力を持っている - 長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 - 登場人物の行動を理解することができる。
書く	- いろいろな情報や議論をまとめて評価できる。 - 明瞭で詳細な文章を書くことができる。 - 文章のジャンルの習慣に従って、書くことができる。 - 論拠を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。
文法	中上級レベルの日本語文法・表現を学習する。
漢字	1500 字程度の漢字とその漢字を含んだ漢字語彙の読み書きを学習する。

日本語 III - 2a は春学期に、III - 2b は秋学期に開講します。学習項目や活動は、学生の既習項目等に合わせて、調整することがあります。

（評価） 各授業の科目を担当する教員が個別に評価します。多くの場合、課題、授業参加度、試験等の結果を総合的に判断し、評価を行います。

（教材の例） 『小論文への 12 のステップ』スリーエーネットワーク
『日本語学習者のための読解厳選テーマ 10 中級・中上級』 凡人社
『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解 中級・中上級』スリーエーネットワーク
『日本語学習のためのよく使う順漢字 2200』三省堂
ニュース、新聞記事等

日本語 III-2c
冬季集中 2 単位

日本語 III-2c は冬学期に開講します。春学期や秋学期の学習で身につけられなかった知識やスキルを集中的にブラッシュアップし、III-2a や III-2b で身につける知識やスキルの習熟を目指します。III-2a や III-2b と同様に中級レベルの学習者を対象に、日本語 III では、目標とするレベルを CEFR の B1 に設定しています。日本語 III では、技能別に聞く、話す（表現・やりとり）、読む、書く、文法、漢字語彙のクラスを開講しており、各クラスで扱われる様々な技能を身につけ、場面や状況に応じた適切な言葉づかいで自信を持って述べたいことを述べられることを目指します。（週 6 コマ、5 週実施）

日本語 III-2c の目標は以下の通りです。

- 専門的なプレゼンテーションや、ニュースやドキュメンタリーを聞いて理解することができる。
- 社会や生活の幅広い話題についての議論を理解し、自分の意見を述べることができる。
- 助けを得れば、様々な種類の複雑な文章を読んで、内容を理解することができる。
- 論拠を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。

科目	授業内容の例
聞く	- 専門的なプレゼンテーションの要点が理解できる。 - 標準語のドキュメンタリー、ニュース、インタビュー、映画等を理解できる。
話す	- はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。 - 図表やグラフなどを示しながら、詳しく説明し、質問に的確に対応することができる。 - 映画やドラマなどについて、友人にストーリーの展開を要領よくまとめて話すことができる。 - お互いにストレスを感じさせることなく、流暢に自然に対話できる。 - 日常・非日常的な公式の議論に積極的に参加できる。 - 様々な立場の人と、抽象的な文化的・社会的な話題について、意見交換ができる。 - インタビューをなめらかに効果的に行うことができる。
読む	- さまざまな種類の文章を独力で読み解ける。 - 文章を読むのに必要な広汎な語彙力を持っている - 長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 - 登場人物の行動を理解することができる。
書く	- いろいろな情報や議論をまとめて評価できる。 - 明瞭で詳細な文章を書くことができる。 - 文章のジャンルの習慣に従って、書くことができる。 - 論拠を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。
文法	中上級レベルの日本語文法・表現を学習する。
漢字	1500 字程度の漢字とその漢字を含んだ漢字語彙の読み書きを学習する。

（評価） 各授業の科目を担当する教員が個別に評価します。多くの場合、課題、授業参加度、試験等の結果を総合的に判断し、評価を行います。

（教材の例） 『トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ 中級後期』
『留学生のためのここが大切文章表現のルール』スリーエーネットワーク
『日本語学習者のための読解厳選テーマ 10 中上級』 凡人社
『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解 中上級・上級』スリーエーネットワーク
『日本語学習のためのよく使う順漢字 2200』三省堂
ニュース、新聞記事等

日本語 IVa・IVb
春学期（IVa） 及び 秋学期（IVb） 各 6 単位

上級レベルの学習者を対象に、日本語IVa・IVbでは、目標とするレベルをCEFRのB2に設定しています。日本語IVa・IVbでは、技能別に聞く、話す（表現・やりとり）、読む、書く、総合のクラスを開講しています。幅広い慣用的な表現や口語表現を理解し、難度の高い様々な種類の文章を読んだり、ニュースやドキュメンタリー、講義や講演、映画やドラマといった生や生に近い素材を見たり聞いたりします。また、明瞭で詳細なレポートの作成や調べた情報に基づく発表などの活動も行います。（週6コマ）

日本語IVa・IVbの目標は以下の通りです。

- 自然なスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容を理解したり、要旨を把握したりすることができる。
- 幅広い話題について自然に近いスピードで、まとまりのある会話ができる。
- 幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事などを読んで、文章の構成や内容を独力で理解することができる。
- 大学生に必要とする作文、一般的な問題をテーマにしたレポートやエッセイを書くことができる。

科目	授業内容の例
聞く	・講義、議論、ディベートを聞いて、内容を理解する。 ・標準語の生放送を聞いて、個人間、社会、学問、職業の世界で通常出合う話題について、理解する。 ・視聴した話題について、様々な立場の人と意見交換ができる。
話す	・自分の発表テーマについてPPTを作成し、データなどを示しながら詳しく説明する。質問にも対応する。（プレゼンテーション、質疑応答） ・議論に積極的に参加し、コメントしたり、仮説を立てたりする。（ディスカッション、意見交換） ・インタビューする人としてもインタビューを受ける側としても、インタビューに参加する。
読む	・新書、新聞、物語、論説文など、様々な分野のテキストを読み、内容を理解する。 ・読んだ情報についての解釈や、自分自身の意見を述べる。 ・長くて複雑なテキストを読み、理解する。 ・目的やテキストの種類に合わせて、読むスピード、読み方を変えながら読む。
書く	・論拠、論点を整理してエッセイやレポートを書く。 ・読者として想定して、相手にふさわしい文体で、的確な構成と展開を持つ投書、意見文、志望動機、自己PR文を書く。
総合	・時事問題を含む様々な話題について、ニュース、ドキュメンタリー、インタビューなどを視聴し、それをもとに議論する。 ・ある程度長く複雑なテキストを理解し、必要な情報を整理して、明確な構造のエッセイやレポートを書く。

日本語IVaは春学期に、IVbは秋学期に開講します。学習項目や活動は、学生の既習項目等に合わせて、調整することがあります。

（評価） 各授業の科目を担当する教員が個別に評価します。多くの場合、課題、授業参加度、試験等の結果を総合的に判断し、評価を行います。

（教材の例） 『読む力 中上級』 くろしお出版

『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 聴解 上級』 スリーエーネットワーク

『聴解・発表ワークブック アカデミックスキルを身につける』 スリーエーネットワーク

ニュース、新聞記事、テレビ番組等

日本語 IVc
冬季集中 2 単位

日本語IVcは冬学期に開講します。春学期や秋学期の学習で身につけられなかった知識やスキルを集中的にブラッシュアップし、IVaやIVbで身につける知識やスキルの習熟を目指します。幅広い慣用的な表現や口語表現を理解し、難度の高い様々な種類の文章を読んだり、ニュースやドキュメンタリー、講義や講演、映画やドラマといった生や生に近い素材を見たり聞いたりします。また、明瞭で詳細なレポートの作成や調べた情報に基づく発表などの活動も行います。(週6コマ、5週実施)

日本語IVcの目標は以下の通りです。

- 自然なスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容を理解したり、要旨を把握したりすることができる。
- 幅広い話題について自然に近いスピードで、まとまりのある会話ができる。
- 幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事などを読んで、文章の構成や内容を独力で理解することができる。
- 大学生生活に必要な作文、一般的な問題をテーマにしたレポートやエッセイを書くことができる。

科目	授業内容の例
聞く	・講義、議論、ディベートを聞いて、内容を理解する。 ・標準語の生や放送を聞いて、個人間、社会、学問、職業の世界で通常出合う話題について、理解する。 ・視聴した話題について、様々な立場の人と意見交換ができる。
話す	・自分の発表テーマについてPPTを作成し、データなどを示しながら詳しく説明する。質問にも対応する。(プレゼンテーション、質疑応答) ・議論に積極的に参加し、コメントしたり、仮説を立てたりする。(ディスカッション、意見交換) ・インタビューする人としてもインタビューを受ける側としても、インタビューに参加する。
読む	・新書、新聞、物語、論説文など、様々な分野のテキストを読み、内容を理解する。 ・読んだ情報についての解釈や、自分自身の意見を述べる。 ・長くて複雑なテキストを読み、理解する。 ・目的やテキストの種類に合わせて、読むスピード、読み方を変えながら読む。
書く	・論拠、論点を整理してエッセイやレポートを書く。 ・読者として想定して、相手にふさわしい文体で、的確な構成と展開を持つ投書、意見文、志望動機、自己PR文を書く。
総合	・時事問題を含む様々な話題について、ニュース、ドキュメンタリー、インタビューなどを視聴し、それをもとに議論する。 ・ある程度長く複雑なテキストを理解し、必要な情報を整理して、明確な構造のエッセイやレポートを書く。

(評価) 各授業の科目を担当する教員が個別に評価します。多くの場合、課題、授業参加度、試験等の結果を総合的に判断し、評価を行います。

(教材の例) 『読む力 中上級』 くろしお出版

『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 聴解 中上級 上級』 スリーエーネットワーク

『聴解・発表ワークブック アカデミックスキルを身につける』 スリーエーネットワーク

ニュース、新聞記事、テレビ番組等

日本語 Va・Vb
春学期（Va）及び秋学期（Vb） 各2単位

上級レベルの学習者を対象に、日本語 Va・Vb では、目標とするレベルを CEFR の B2～C1 に設定しています。映画、ドラマ、講義や講演、新聞、雑誌、文芸評論等の生や生に近い素材を使用します。明瞭で詳細なレポートの作成や調べた情報に基づく発表などの活動を通じて、総合的な日本語能力の向上を目指します。（週2コマ）

日本語 Va・Vb の目標は以下の通りです。

- 幅広い場面においてまとまりのある会話、ニュース、講義を聞いて、内容の論理関係や登場人物の関係を理解することができる。
- 幅広い話題について根拠を示しながら論理的に説明することができる。発表の場で質疑応答できる。
- 論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章などを読んで、文章の構成や内容を正確に理解することができる。さまざまな話題の内容の深みのある読み物を読んで、詳細な意図を理解することができる。
- 大学生生活に必要なレポートが作成できる。根拠を示しながら論理的な構成で文章を書くことができる。

日本語 Va は春学期に、Vb は秋学期に開講します。学習項目や活動は、学生の既習項目等に合わせて、調整することがあります。

科目	授業内容の例
総合	・時事問題を含む様々な話題について、ニュース、ドキュメンタリー、インタビューなどを視聴し、それをもとに議論する。 ・ある程度長く複雑なテキストを理解し、必要な情報を整理して、明確な構造のエッセイやレポートを書く。

（評価） 各授業の科目を担当する教員が個別に評価します。多くの場合、課題、授業参加度、試験等の結果を総合的に判断し、評価を行います。

（教材の例） 『聴解・発表ワークブックアカデミック・スキルを身につける』 スリーエーネットワーク
 ニュース、新聞記事、テレビ番組、専門書等

日本語 Vc
冬季集中 各2単位

日本語 Vc は冬学期に開講します。春学期や秋学期の学習で身につけられなかった知識やスキルを集中的にブラッシュアップし、Va や Vb で身につける知識やスキルの習熟を目指します。映画、ドラマ、講義や講演、新聞、雑誌、文芸評論等の生や生に近い素材を使用します。明瞭で詳細なレポートの作成や調べた情報に基づく発表などの活動を通じて、総合的な日本語能力の向上を目指します。（週6コマ、5週実施）

日本語 Vc の目標は以下の通りです。

- 幅広い場面においてまとまりのある会話、ニュース、講義を聞いて、内容の論理関係や登場人物の関係を理解することができる。
- 幅広い話題について根拠を示しながら論理的に説明することができる。発表の場で質疑応答できる。
- 論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章などを読んで、文章の構成や内容を正確に理解することができる。さまざまな話題の内容の深みのある読み物を読んで、詳細な意図を理解することができる。
- 大学生生活に必要なレポートが作成できる。根拠を示しながら論理的な構成で文章を書くことができる。

学習項目や活動は、学生の既習項目等に合わせて、調整することがあります。

科目	授業内容の例
聞く	・講義、議論、ディベートを聞いて、内容を理解する。 ・標準語の生放送を聞いて、個人間、社会、学問、職業の世界で通常出会う話題について、理解する。 ・視聴した話題について、様々な立場の人と意見交換ができる。
話す	・自分の発表テーマについて PPT を作成し、データなどを示しながら詳しく説明する。質問にも対応する。（プレゼンテーション、質疑応答） ・議論に積極的に参加し、コメントしたり、仮説を立てたりする。（ディスカッション、意見交換） ・インタビューする人としてもインタビューを受ける側としても、インタビューに参加する。
読む	・新書、新聞、物語、論説文など、様々な分野のテキストを読み、内容を理解する。 ・読んだ情報についての解釈や、自分自身の意見を述べる。 ・長くて複雑なテキストを読み、理解する。 ・目的やテキストの種類に合わせて、読むスピード、読み方を変えながら読む。
書く	・論拠、論点を整理してエッセイやレポートを書く。 ・読者として想定して、相手にふさわしい文体で、的確な構成と展開を持つ投書、意見文、志望動機、自己PR文を書く。
総合	・時事問題を含む様々な話題について、ニュース、ドキュメンタリー、インタビューなどを視聴し、それをもとに議論する。 ・ある程度長く複雑なテキストを理解し、必要な情報を整理して、明確な構造のエッセイやレポートを書く。

(評価) 各授業の科目を担当する教員が個別に評価します。多くの場合、課題、授業参加度、試験等の結果を総合的に判断し、評価を行います。

(使用教材) 『聴解・発表ワークブックーアカデミック・スキルを身につける』 スリーエーネットワーク
ニュース、新聞記事、テレビ番組、専門書等

日本語会話		
春学期 及び 秋学期	各 1 単位	今仁生美 水野瑛子 末松大貴

会話練習では、日本人学生との会話練習を通じて、日本語会話能力の向上を目指します。対象者は日本語Ⅰ・Ⅱクラスの学生とします。(参加者数によって、変わることがあります。)参加者は1名～2名の日本人学生とパートナーになり、日本語で会話を行います。(パートナーは5週で代わります。)70%以上の出席が必須となります。

日本事情総合 1～5(日本語Ⅳ、日本語Ⅴ履修生のみ対象)		
春学期 及び 秋学期	各 2 単位	

別科生が本学学部開講の人文・社会系科目を履修し、単位を修得した場合には留学生別科の本科目へ振り替えすることが出来ます。

日本語Ⅳ・Ⅴを履修している学生は、学部担当教員の許可を得た上で、本制度を利用できます。